

原水協活動 FAX News

発行: 原水爆禁止日本協議会

電話 03 5842 6031 FAX 03 5842 6033

URL <http://www10.plala.or.jp/antiatom/> Eメール antiatom55@hotmail.com 2008年1月7日 No.23

6・9
行動

2008年核兵器廃絶のうねりを

元旦から2010年NPT(核不拡散条約)再検討会議に向けた核兵器廃絶キャンペーンが始まりました。全国各地で積極的なとりくみがすすめられています。各地から寄せられた6・9行動の様子を紹介します。

神奈川県では、西相模原水協が1日、大雄山駅前前で核兵器廃絶のための国際署名・カンパ集めなど、元旦宣伝行動を行いました。また、核被害の実相を伝えるための「原爆と人間展」を同時開催しました。今年で15回目を迎えるこの行動には、90歳を超える方から20代までの幅広い層から12人が参加して取り组まれました。今年は例年になく初詣客が多く、わずか1時間足らずで署名96筆、カンパが9000円弱集まりました。

20代から90代までが宣伝行動に参加(1月1日、神奈川県)



北海道では6日、北海道原水協、北海道被爆者協会などから8人が参加して札幌市中央区パルコ前で核兵器廃絶の決意と行動の日とする新春の6・9行動を行い、1月28日に結審を迎える北海道原爆訴訟の支援と、1月26日の「北の被爆者も勝つ!ピーストークと音楽の夕べ」への協力を訴えました。「国連総会に提出する署名に協力を」の呼びかけに足を止める青年。北海道原爆訴訟支援署名が21筆、「すみやか」署名が20人から寄せられました。

東京では、日本原水協と東京原水協などが6日、家族連れや観光客で賑わう上野公園で「原爆と人間」展パネルを並べ、「すみやか」署名と原爆症認定制度の抜本的改正を求める署名、被爆者お見舞い募金をよびかける2008年初の6・9行動を行いました。「世界は大きく反核・平和の流れに動いている。今年2年後の2010年にひらかれるNPT(核不拡散条約)再検討会議に向けた核兵器廃絶のうねりを作り出す年です」などと訴えました。2万羽の折り鶴も登場、大きな注目を集めました。この日の行動には30人が参加し、「すみやか」署名が123筆、原爆症認定の抜本改善を求める署名が55筆と募金が寄せられました。



2日から宣伝行動を行う参加者(1月2日、長崎市・平和公園)

長崎では2日、県原水協が、また、6日には年金者組合と県原水協が共同で、平和公園で「すみやか」署名と原爆症認定制度改定署名に取り組みました。2日は、参加者13人で署名数は195筆と40筆。6日は6人の参加で「すみやか」署名が60筆寄せられました。9日、14日(成人の日)にも連続して行う予定です。

高知では、6日午後、県原水協が高知市商店街で「すみやか」署名と高知地裁に提出する原爆症認定訴訟署名を集める6・9行動を行いました。前回の宣伝行動から原爆写真の展示と「ねがい」など、平和に関する音楽を流す工夫をしています。写真をじっくり見て行く通行人もあり、にぎやかな行動となりました。1時間の行動には8人が参加し、「すみやか」署名98筆、認定訴訟署名93筆、募金が3510円集まりました。



音楽を鳴らして宣伝行動(1月6日、高知市内)



兵庫では、6日正午、県原水協が神戸市中央区の元町商店街で、2008年初めての6・9行動を行いました。参加した9人は「新年の書初めとして、平和の署名を」と呼びかけました。西宮市から来たという親子は、「寒い中での訴えは大変ですが、がんばってください」と、激励しながら署名に応じました。展示された被爆写真に足をとめた若い男女は、「何十万人も殺すような兵器は、絶対になくしてほしい」と力をこめて話しながらそろって署名しました。この日の行動で、「すみやか」署名が78人分、原爆症署名が59人分寄せられました。

2008年元旦・新春行動をお知らせ下さい